

つながる  よこはま

✦✦2021年12月号✦✦

にほんごコミュニケーション

よこはま日本語学習支援センター～横浜×日本語×多文化共生～

横浜で暮らす外国人トークリレー

第7回：ヨアヒム・シュミットさん

連載

「相手も自分も大事にする」コミュニケーションのための心理学

第2回：勇気づけ

石井未奈子さん

日本語コミュニケーション～つなげよう、ひろげよう～

第3回：「日本語ボランティア講座」を通して、つながる

磯子区/南区

特集

オンラインでもっと楽しもう、日本語交流

社会福祉法人 さぼうと21

オンライン料理教室「Zoomでtry! おうちクッキング」

緑区役所・YOKE

日本語教室同士の交流会「ようこそにほんご@みどりく」



2021年度第3号（通算7号）

編集・発行 よこはま日本語学習支援センター（運営：公益財団法人横浜市国際交流協会）



〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 パシフィコ横浜 横浜国際協力センター5F YOKE内

電話 045-222-1173 FAX 045-222-1187 MAIL c-nihongo@yoke.or.jp

発行年月日 2021年12月5日

横浜市委託事業/文化庁令和3年度「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用



外国人のみなさんに、生活の中での日本語との関わりについて話していただくコーナーです。

横浜市にはさまざまな国際交流の場があり、人と人、外国人と地域をつなぐ大切な場所となっています。

今回は、地域の日本語教室との出会いが、日本で生活していく上での自信につながったというシュミットさんにお話をうかがいました。(聞き手：T)

横浜で暮らす外国人 トークリレー

第7回



日本に来た理由を教えてください

イギリス留学中に知り合った日本人女性と結婚し、イギリスで暮らしていましたが、子どもの誕生をきっかけに日本で生活することにしました。出産に合わせ、妻だけ先に日本へ引っ越したのですが、東日本大震災が発生した直後だったので本当に心配しました。そのような中で娘の誕生は心に残る出来事でした。生まれた時は私も6週間ほど日本に滞在し、家族で過ごす幸せな時間を噛みしめました。妻と子と離れて暮らして1年ほど経ったころ、私も日本での生活をスタートさせました。

どのように日本語を勉強してきましたか？

はじめは、テレビやインターネットなどを使って一人で勉強していましたが、なかなか習得できずにいました。しかし、来日

して半年ほど経ったころ、地域の日本語教室に通い始めたのをきっかけに、どんどん日本語が上達しました。会話や文法、漢字など、さまざまな勉強をしたことはもちろんですが、何より、交友関係が広がり、積極的に行動する機会が増えたことが大きいと思います。

日本では、どのような経験をしましたか？

日本人男性にドイツ語を教えたり、みんなでマス釣りに出かけたり、ボランティアさんの勧めで英会話教室を始めたりなどです。また、「なぜ日本に来たか」というテーマでスピーチコンテストにも出場しました。来日してまだ1年ほどしか経っていませんが、本当にやり遂げられるか不安でしたが、夏の間毎日ボランティアさんと練習したり、一生懸命日本語を調べたりしたお陰で、スピーチを成功させるこ

とができました。この時の素晴らしい経験が、日本語について深く学ぶきっかけとなり、自分の日本語力への自信にもつながりました。

地域とのかわりについて教えてください

さまざまなイベントに参加していくうちに、ただ日本語を勉強するだけより良い経験ができると感じ、ボランティアとして活動するようになりました。英会話教室の他に、子どもたちにドイツの子ども歌やダンスを教えたり、絵本の読み聞かせを行ったり、やさしい日本語のグループに参加したりしています。また、盆踊りなど地域の交流イベントにはできるだけ家族と一緒に参加するようにしています。そこで新しい交流が生まれ、子どもも私たちも、より楽しい時間を過ごすことができるからです。

外国の方に、地域で楽しく暮らすためのアドバイス

交流イベントなどに積極的に参加し、人と人のつながりをつくるのが大切だと思います。お互いの文化に対する理解が深まる上に、日本語をレベルアップできるきっかけがたくさんあるからです。そして、それが日本で生活する上での自信にもつながります。私の場合は、「自分でも教えることができる」という自信が持て、ドイツ語の先生として語学学校で働くようになりました。5年ほど前からは、県立高校のALT(外国語指導助手)としても働いていて、ボランティアに仕事に、とても充実した日々を過ごしています。

はじめはことばの壁などにより行動できないことも多いと思いますが、ぜひ、いろいろなことに挑戦し楽しく過ごせる機会をつくってみてください。

Profile

ヨアヒム シュミットさん (ドイツ)
日本在住歴：9年 ドイツ講師

あーすフェスタかながわ等のイベントに積極的に参加し、人とのつながりを大切にしているシュミットさん。日本語教室でのさまざまな出会いをきっかけに、ボランティアとして活動するようになりました。家族の絆を大切に、何に対しても真剣に取り組む姿勢がとても印象的です。

*あーすフェスタかながわ「民族団体、NPO 及び行政等を構成団体とする実行委員会が主催し、多文化共生社会の実現に向けて、毎年実施されているイベント。(事務局：神奈川県国際課)」

日本語コミュニケーション

～つなげよう、ひろげよう～

第3回

「日本語ボランティア講座」を通して、つながる

磯子区
南区



外国人と日本人が、より良いコミュニケーションでつながり、ひろがるための取組み・工夫のヒント集！

地域の日本語教室で活動する日本語ボランティアのみなさん。まず国際交流ラウンジや区役所などが開催する、日本語ボランティア入門・養成講座を受講することが多いようです。さまざまな動機で講座に集まった人たちが、受講をきっかけに日本語教室とつながり、ボランティアを始めています。



講座を修了し、現在ボランティアとして活動している私たちが体験を語ります！

（磯子区）中村浩子さん
（南区） 小黒直弘さん・福原仁美さん

（注）この記事は、レポーターへのインタビューをもとに YOKE が再構成しました。

磯子区 講座 「磯子で日本語ボランティア （2020年度）」を受講して

磯子区役所・YOKE主催

育児休暇中、インターネットでたまに講座を知り、やるなら今がチャンス！と思い応募しました。（中村）



入門講座から、次なるステップへ

以前から日本語ボランティアには興味がありました。なかなか機会がありませんでした。受講したら思ったより専門的だったので、びっくりしました。内容は楽しく、ボランティアとしての心構えを得られました。その気持ちを保って、次のステップにつなげることができたいと思います。また、受講中は託児保育を利用することができたので参加しやすかったです。今は、子ども向けの教室で活動しています。日本語教室に見学に行ったときの光景が楽しく面白かったので、自分もできるのではと思いました。参加して分かったことは、外国籍の子どもは日本語で話すことは上手でも、勉強で苦労していること、高校進学が容易ではないこと、在留資格の問題もあることなどです。子どもとのやり取りは楽しいです。

育児休暇が終わると今のよう活動は出来ないと思います。できる限り続けようと思っています。



↑学習支援教室の風景。子どもの現状を把握し、将来のことも見据えながら活動している。

関係者からひとこと

ボランティアをやりたい気持ちはあっても方法などが分からず始めら

私も講座で今の教室に巡り会いました。以前から日本語ボランティア、特に子どもへの支援に興味がありました。教室では学習者の人が一生懸命伝えてくれて、日本語を使ったやりとりが楽しいです。文化など相手に教えてもらうことが多く、自分が知っている知識はちっぽけな気がします。（福原）



地域貢献したい気持ちや、外国生活で人に助けてもらった経験から、日本語を教えることに興味を持ち、講座を受けて今の教室に出会いました。相手が学びたいことに合わせて準備しています。慣用句など「どんな意味ですか」と聞かれてどきどきすることも（笑）。身振り手振りのこともありますが、話がはずむと楽しいです。（小黒）



南区 講座 「日本語ボランティア講座 （2019年度）」を受講して

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ主催

私たちの紹介

れない方にとって、入門講座は、支援の方法・心構えがわかり、地域の教室ともつながることが出来ます。とてもありがたいです。（磯子区で教室を運営している王さん）
区内日本語教室から「新たなボランティア仲間を受け入れたい」という声を受け、当該講座をYOKEと連携し開催しました。中村さんのように、区内教室で新たに活躍いただける人たちとのつながりを創出できたことは大きな成果だと感じています。磯子区はこれからも、外国人区民が住みやすい環境づくりを目指していきます。日本語教室への支援やボランティア養成講座、国際交流イベント等を積極的に開催し、多文化共生の推進に関わる多くのつながりを生み出し、広げていきたいと考えています。（磯子区役所地域振興課）



入門講座は新しい世界への第一歩

私たちが受けた2019年度の講座では、実際に教室を見学・体験する機会があり、そこで今の教室と出会いました。「このメンバーと一緒にやれたらいいな」と思ったのです。自分から一歩ふみだして連絡をとるのは勇気がいるので、このような機会は助かりました。日本語を教えるボランティアといっても、ピンときませんから、講座を通じてキーポイントや各教室の特徴がわかったのはとてもよかったです。外国人でも英語がわかる人は少ないなど、新しい発見もありました。

日本語ボランティアを始めませんか？

日本語ボランティアは、人が好き、コミュニケーションが好きなら誰でもできると思います。話を聞いてあげたり、日本語を再認識したり、と楽しい活動です。興味のある人は、講座を受けることから始めてはいかがでしょうか。



↑日本語教室風景（写真のみ）
→日本語教室風景（写真のみ）
→日本語教室風景（写真のみ）



「あ」と「き」各区の講座は、ボランティアに興味のある人と地域の教室をつなぎ、スムーズに活動に入れることを大切にしています。講座の開催情報は、各国際交流ラウンジや、よこはま日本語学習支援センターホームページなどでご確認ください。

多様化する交流のかたち

オンラインでもっと楽しもう、日本語交流



ONLINE

コロナ禍をきっかけに急速に広がり、さまざまな分野で定着している「オンライン」。これまでは直接会わないとできないとされていたことも、オンラインを活用してできるようになりました。ことばの壁がある日本語支援の場ですが、オンラインで楽しめることもたくさんあることでしょう。

今回は、具体的な活動例を通して、オンラインでの活動における工夫や楽しみ方、今後の可能性について考えてみたいと思います。



(社福) さぼうと 21

日本語教室 × 料理教室

お話を伺いました！
オンライン料理教室「Zoom
でtry!おうちクッキング」
植木ちずさん(料理教室講師)
田中康予さん(日本語教師)
*以下、敬称略

オンライン料理教室を始めた経緯

(植木) もともと、さぼうと21で「さぼうとカフェ」として飲食の提供や料理教室の開催をしていましたが、このコロナ禍で1年ほど中止となってしまいました。今年度こそは何かしらの形で活動したいと思っていったところ、コーディネーターの方からオンライン料理教室のご提案をいただいたため、挑戦することになりました。

(田中) 植木さんの料理教室は毎月1回開催していて、わたしも参加させていただきました。オンライン、日本語教室、料理教室という組み合わせがとても新鮮でした。

オンラインで工夫していること

(植木) 90分という限られた時間の中で、皆が同じタイミングで仕上げられるもの、火を使わず安全なものであることを考えて、炊飯器やレンジを使ったレシピにしています。また、材料は家に常備してありそうなものを使い、決めつけすぎないことも大切にしています。例えば、炊き込みご飯の回では「家にある缶詰と野菜」とし、パンディングのときも、「好きな果物」としました。講座に参加しやすくなる上に、いろいろなアレンジが生まれるため、完成した時はかなり盛り上がりやすい！
(田中) このようなさまざまな工夫が、参加者・主催者側ともに長く続けていける秘訣になっていると感じます。

参加者の様子

(植木) 皆さんすごく楽しく参加しています。印象深かったのは、普段は大人しく控えめな方が、オンラインでは活発に発言したり笑顔を見せたりしていたことです。自宅にいる安心感と「料理」という活動を通してのことばがスムーズに出たからなのではないかと思います。

(田中) ボウルを混ぜるときも、皆で反復して「混ぜまーす」と発言したり。体験しながら学ぶというところは、ことばが身につくチャンスなんだなと改めて感じました。

オンラインだからこそ新しい発見

(植木) 対面では工程ごとに参加者の担当割りをしていましたが、オンラインではすべての工程を一人で行うので、体験したこと全てを吸収しやすくなると感じました。また、画面上で皆さんの動きを一度に見ることができると、オンラインの方がスムーズに進行できるという発見もありました。

(田中) 同じ画面を共有しているので、失敗に対してみんなで悩み、アイデアを出



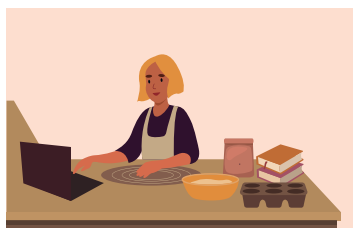
↑メニューを考えるにあたっては季節感も大切に、夏は「豆腐アイスクリーム」(右)を作りました。用意するものは豆腐とジャムと「ふくろ」だけ。安心な材料で、火も包丁も使わず安全。子どもだけでも心配なし。「とうもろこしご飯」(左)は、旬の食材を使い、見た目も楽しい仕上がりに。

し合ったりもしますよね。単に教える/教えられるという二分された関係ではなく、みんなで参加し協力するという形ができやすいので、面白さがアップすると感じました。

可能性を秘めたオンライン

(田中) カメラ機能を使えば、さまざまなことができると思います。例えば、ゴミ出で悩んでいる生徒さんが、ゴミ捨て場にある収集日の看板を実際に映し解決する。使い方が分からない薬や調味料を見せてもらいながら、みんなで議論し解決するなどです。普段から「自分ごと」として考えられるような仕掛けづくりを授業に取り入れています。自分が知りたいこと、学びたいことを気軽に・効率的に知ることができるとはオンラインの強みだと思います。

(植木) 楽しいで終わりではなく、自立して学べるような環境づくりも大切ですね。次の回でフォローアップする機会を設けることもとても大事。オンラインに限らず言えることですが、何事もやってみないと分からない。やってみて、これは良かったと思えることがまだまだあります。オンラインの可能性は未知数だと思います。



社会福祉法人さぼうと 21

日本で生活する難民、中国帰国者、日系定住者とその子弟の、定住と自立に向けた支援を行っています。



オンライン
交流会

日本語教室同士のオンライン
交流会「ようこそほん
ご@みどりく」

主催 緑区役所・YOKKE

アウトリーチでの初期日本語教室を開催

2021年1月に、緑区霧が丘において「ようこそほんご@みどりく」を全6回で開催しました。この日本語教室は、日本語にまだ慣れていない初期の方が対象で、地域の情報を知って、生活をより楽しくすることを目的としました。外国人住民が多く住む地域にこちらから出向いたアウトリーチでの教室で、学習者のみなさんは、近所から歩いて通ってきていました。

教室では、「自己紹介」「わたしたちの住んでいる地域」「わたしのおすすめ」「これからしたいこと」など、自分について話すことを目標にしました。地域の日本語教室で活動する支援者の方などの協力を得たこの講座では、参加者も回を重ねるごとにリラックスし、覚えた日本語を使って、講師などに質問をする場面もたくさん見受けられました。



他の日本語教室の人たちと知り合おう

最終回の第6回には、新しい試みとして、緑区内の別の地域日本語教室とオンラインでつなぎ、交流会を行いました。交流会では、それぞれの場所から日本語学習者同士がクイズを出し合い、それに答えるというゲームを行いました。一例として、自己紹介を兼ねたクイズを紹介します。

好きな野菜です

ヒント：「みどり」「長い」「中が白」

Aさん

好きな食べ物です

ヒント：「まるいかたち」「さんかく」「すっぱい」「コンビニで売っています」

Bさん

嫌いな果物です

ヒント：「外が茶色」「中が緑」「ときどきあまい/ときどきすっぱい」

Cさん

やりとりはとても簡単なものですが、終了後に行ったアンケートでは、日本語でコミュニケーションが取れたことへの満足感があり、さらに日本語で話すことへの自信がついたという学習者が多くいました。(クイズの答えは、この記事の左下にあります)

「交流」の多様化と可能性

オンラインであっても実際にコミュニケーションの場を作ることができ、これまでの交流会とは違う形態で行えたことは、今後の日本語教室に新たな可能性を感じました。「教室」ということばの持つ意味が、現実の場所以外に仮想空間での場所も含められるようになった今、「交流」の意味も多様になってくるのだらうと思います。



「ようこそほんご@みどりく」に関する詳しい情報は、よこほま日本語学習支援センターホームページで掲載しています。



クイズこたえ Aさん：きゅうり Bさん：おにぎり Cさん：キウイフルーツ

連載

「相手も自分も大事にする」
コミュニケーションのための心理学

第2回：勇気づけ

石井未奈子



今回のテーマは、「勇気づけ」です。「すべての悩みは対人関係の悩みである」とするアドラー心理学において重視される技法で、国籍やルーツを問わずあらゆる対人関係のコミュニケーション場面で活かされます。

「アドラー心理学」と「勇気づけ」

2013年12月に発売されベストセラーになった『嫌われる勇気』は、哲学者と青年の対話形式で、オーストリアの精神科医アルフレッド・アドラー(1870-1937)の思想(アドラー心理学)を解き明かした本でした。現在、アドラー心理学は、心理、教育、医療、福祉、子育て支援等、日常の幅広い領域で実践されています。別名「勇気づけの心理学」と呼ばれており、技法面での「勇気づけ」を重視します。アドラー心理学において「勇気づけ」は、「自分や他者に」困難を克服する活力を与えること、「人生の課題を解決しようという自信を持てるように援助すること」等を意味すると言われています。

「勇気づけ」を実践してみよう!

私がかまざまな相談者とのカウンセリングの場で多用し、その効果を体感してきた技法が「勇気づけ」でした。

以下に具体的な「勇気づけの方法」として、支援者の皆さんがそれぞれの支援の現場や家庭、職場、周囲の人との関係において、今日から実践できそうな「勇気づけ」のテクニックを紹介します。10のポイントと共に具体例も示してあります。ポイントを念頭に置きながら、それ

「勇気づけ」のテクニック (勇気づけるメッセージ)

1. **貢献や協力を注目する**
「あなたのおかげでとても助かった」
「忙しい中、よく来てくれたね」
2. **過程を重視する**
「一生懸命やっていたね」
「よく苦しいことにチャレンジしたね」
3. **すでに達成できている成果を指摘する**
「この部分はとてもいいと思う」
「先週、学習した漢字は書けているね」
4. **失敗をも受け入れる**
「残念だったね」
「この次はどうすればいいだろう」
5. **個人の成長を重視する**
「この前よりもずいぶん上手になったね」
「去年よりできることが増えたね」
6. **相手に判断をゆだねる**
「あなたはどう思う?」
「本当はどうしたい?」
7. **肯定的な表現を使う**
「気が小さいんじゃないかと慎重なんだろう」
「ゆっくりだけど、丁寧にいい字を書いているね」
8. **『私メッセージ』を使う**
「(私は) そのやりかたは好きだ」
「(私は) そのやりかたをやめてほしい」
9. **『意見言葉』を使う**
「あなたは正しいと思う」
「あなたの意見に私は賛成できない」
10. **感謝し共感する**
「話してくれてありがとう」
「大変な中、手伝ってくれてありがとう」



「勇気づけ」で、相手がさまざまな困難に対処できる活力を与えよう!

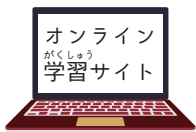
それぞれのコミュニケーション場面にあった「勇気づけるメッセージ」を考え実践してみてください。

◆石井未奈子さんプロフィール◆
臨床心理士・公認心理師・横浜市学校カウンセラー/前職はYOKKE職員。「多様な人々の生を応援する心理職」を志し、様々な自治体の教育現場でカウンセラーとして勤務。来年でカウンセラー勤務10周年を迎える。

*参考・引用:野田俊作 2017年『アドラー心理学を語る4 勇気づけの方法』創元社、p.27 (※一部、筆者による加筆・編集)

日本語を勉強する「どこで?」「どうやって?」

日本語の勉強、お役立ち情報 Vol.7



オンラインで日本語が勉強できるサイト

インターネットの環境があれば、家でも日本語の勉強ができます。無料の日本語学習サイトです。

ひろがる もっといろんな日本と日本語

自分の楽しみを通して、いろいろな日本や日本語について学べるサイトです。英語ページもあります。

「星・夜空」「アウトドア」「スイーツ」「アニメ・マンガ」など、身近な12のトピックがあります。トピックに関する動画を観たり、文を読んだりすることができます。日本語だけでなく、日本の文化についても知ることができます。写真がたくさんで、とても見やすいサイトです。

出典 国際交流基金関西国際センター
Source: The Japan Foundation Japanese-Language Institute, Kansai

「ひろがる」は、自分の楽しみを通していろいろな日本や日本語について学べるサイトです。
"Hirogaru" is a site for learning different things about Japan and the Japanese language through your own interests.

<https://hirogaru-nihongo.jp/>

まずは自分の好きなトピックを選んで、楽しく日本語を学んでみましょう!



横浜市にある、日本語が勉強できる教室

横浜市には、「地域の日本語教室」がたくさんあります。その中から、2つの教室を紹介します。



<http://www.yokeweb.jp>



その他の日本語教室は、ここから探すことができますよ!

都筑区 あいうえお つづき



日本語らうんじです。日本語を教えています。国際交流も行っています。

場所: つづきMYプラザ(ノースポートモール5F)
横浜市営地下鉄センター北駅 徒歩3分

申込み: 電話または、メールで連絡してください
TEL 090-5496-0382
MAIL aieuo.tuzuki@gmail.com
* 水曜日クラス・土曜日クラス 10:30-12:00

栄区 さかえ日本語の会



日常会話や日本の生活習慣などを、わたしたちと楽しく学びましょう!

場所: あーすぷらざ2F・情報フォーラム / JR本郷駅 徒歩3分

申込み: 電話または、メールで連絡してください。
TEL 045-892-8962(いわき) 045-894-9896(たかはし)
MAIL sakae.nihongo1995@gmail.com
* コロナ感染予防のため、教室の時間が少し変わっています。ホームページを見てください。

レベルによって、3つのクラスがあるので、はじめての人でも安心して通うことができます。木曜日と日曜日のクラスがあって、時間も選べます。子どものための「子どもふれあい教室」もあります。

横浜市内の国際交流ラウンジ紹介コーナー

かなざわこくさいこうりゅう 金沢国際交流ラウンジ Kanazawa International Lounge

金沢区って、どんなところ?

横浜市の南側にある区。自然がたくさんあり、海側ではマリンスポーツや海水浴が楽しめます。水族館や遊園地が入る「八景島シーパラダイス」や「金沢動物公園」もあります。

山も海も楽しめる金沢区。みんなも遊びにきてね!

ラウンジからのお知らせ

金沢区役所2Fで、ボランティアが生活のサポートをしています。日本語教室は週に4回(火・木・土・日)で、子どもの学習をサポートする「かもめ教室」もあります。その他、日本文化を体験できるイベントや、スピーチ発表会などもありますよ!



* 外国語対応
英語: 月~土 09:00-17:00
スペイン語: 木曜日 13:00-17:00
中国語: 水曜日 09:00-13:00



Access
京急線 金沢文庫駅 徒歩11分
京急線・シーサイドライン 金沢八景駅 徒歩13分

Address
金沢区泥亀2-9-1 金沢区役所2F

Open
月~土: 09:00-17:00

Closed
日曜、祝日、年末年始

TEL: 045-786-0531
MAIL: klounge@shore.ocn.ne.jp

* このコーナーでは、国際交流ラウンジの情報を掲載していく予定です。掲載ご希望の場合は、YOKEまでお問合せください。

えら どう選んだらいい？ 幼稚園と保育園



しょうがっこうにようがくまえ こ あず
「小学校入学前の子どもを預けたい…。」
「けれど、どこに、どうやって預けたいの？」

よこはまし しょうがっこう はい まえ こ あず
横浜市には、小学校に入る前の子どもを預かって、
せわ きょういく せわ せわ せわ せわ せわ せわ
世話や教育をする所がたくさんあります。選び方が
わからない人が、相談できる所もあります。

STEP1: 違いを知ろう

* 幼稚園と保育園が一緒になった「こども園」というところもあります。

ようちえん

3歳から
小学校入学まで

学ぶところ

もんぶ かがく せい
文部科学省
Ministry of Education
3歳から入れます。幼稚園
によってはその前から通え
る「プレ保育」を行って
いるところもあります。

ほいくえん

0歳から
小学校入学まで

健康に育てるところ

けんこう そだ
厚生労働省
Ministry of Health,
Labour and Welfare
仕事や健康的な理由など
で、0歳から預けること
ができます。

どのような教育をするか、どのよう
な決まりがあるかは、園によって違
います。気になる園があれば、自分
で問い合わせしてみてもいいですね。
どんなふうを選んだらいいか分から
ない！という方は、STEP2へ。

STEP2: 相談しよう

こういう所がいいな…

- フルタイムで働きながら通える所
- 勉強に力を入れている所
- 春休みや夏休みも預けたい
- 幼稚園バスがある所

分からないことを知りたいな…

- 幼稚園・保育園で料金は違う？
- 保育園の認可/認可外って？
- 入園金って何ですか？
- 保育園は、誰でも0歳から預けられる？

「保育・教育コンシェルジュ」に相談してみよう！

しょうがっこう はい まえ こ かよ ようちえん ほいくえん
小学校に入る前の子どもが通う幼稚園、保育園などのこと
について、相談ができます。
区役所にある「こども家庭支援課」や電話で相談できます。



「地域子育て支援拠点」でも相談できます！

地域子育て支援拠点って、なに？

- 小学校に入る前の子どもとお父さんやお母さんが遊んだり、
交流したりする所です。
- 子育てについて相談したり、情報をもらうことができます。
- 使いたい人は登録します。利用は0円です。

それぞれの区にあります。
場所など詳しい情報は、
右のQRコードから見て
ください。



生活お役立ちコラム
A column useful to your daily life.



“おうちごはん”を楽しくしよう！
「ホットプレート」つかってますか？

焼く 炒める

ホットプレートの、
ココがいい！

POINT 1 いろいろな料理ができる！

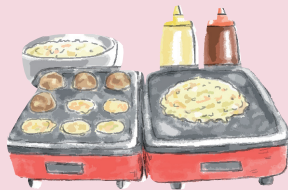
お好み焼き、パンケーキ、焼きそば、バーベキュー、ビビンバ etc.
「ホットプレート レシピ」で検索すると、いろいろなレシピを見ることができます。

POINT 2 家族や友だち、みんなでつくることできる！

テーブルの上に置いて使うので、みんなで一緒に料理ができて楽しいです。

POINT 3 準備が簡単！

材料を切って準備したら、あとは座ってつくるだけ♪ 時間がない時にもおすすめです。



「グリル鍋」もあります

焼く 炒める 煮る



「ホットプレート」は焼くことが得意です。「グリル鍋」は、焼くことも、煮るこ
とも得意なので、お鍋料理も楽しめます！よく作る料理によって、選んでみてく
ださい。(インターネットでいろいろな製品を見ることができます)



すき焼きや
しゃぶしゃぶ
なども楽しめ
ます！



こまったときは
横浜市多文化共生
総合相談センター



045-222-1209
t-info@yoke.or.jp



月曜日～金曜日
10:00～17:00 (受付は16:30まで)
第2・第4土曜日
10:00～13:00 (受付は12:30まで)

横浜で暮らしている外国人から、11の言葉で相談を受けます。
相談は0円です。区役所などと電話をつないで、相談もできます。

つながる  よこはま

にほんごコミュニケーション

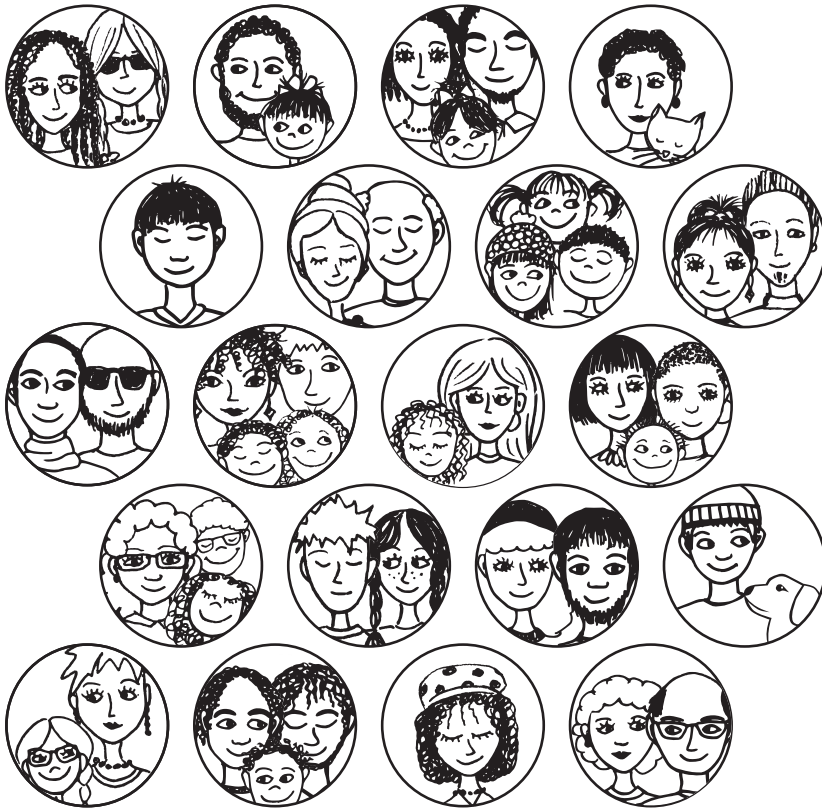
Yokohama NIHONGO Support Center

にほんごばん
＜やさしい日本語版＞

TOPIC


えら どう選んだらいい？ ようち えん ほいくえん
幼稚園と保育園

● にほんご べんきょう 日本語を勉強する「どこで？」「どうやって？」：
じぶん たの じぶん の楽しみをとおして、にほん にほんご まな 日本や日本語が学べるサイト
ひろがる もっといろいろな日本と日本語



にほんご べんきょう かた
日本語を勉強したい方は、
よ
こちらからお読みください



はっこう 発行：よこはま にほんご がくしゅう しえん 支援センター (運営：  こうえきざいだんほうじんよこはまし こくさいこうりゅうきょうかい 公益財団法人横浜市国際交流協会)

〒220-0012 よこはまし にしく 横浜市西区みなとみらい1-1-1 パシフィコ横浜 よこはま よこはまこくさいきょうりょく 横浜国際協カセンター5F YOKE 内

電話 045-222-1173 FAX 045-222-1187 MAIL c-nihongo@yoke.or.jp

横浜市委託事業／文化庁令和3年度「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用

